

平成27年度 磐田市立向陽中学校学校 学校評価書

項目	重点	目標・取組		自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
1	学校教育目標の周知		保護者は、学校が目指す生徒の理想像を知っている。	A	○学校ホームページが充実し、学校の経営方針や教育活動の具体的な様子など、保護者や地域住民に対して発信することができた。今後も続けていきたい。	○学校ホームページが毎日のように更新され、新しい情報が提供されてよい。生徒の様子がよくわかるので、今後も続けてほしい。
2	基本的な生活習慣を身に付けた生徒の育成	自主的なあいさつ	生徒は、進んであいさつをしている。	A	○生活面の大きな乱れがなく、校内生活での規範意識は高い。今後も指導を継続させ、充実感をもって学校生活を送らせたい。	○どの生徒もあいさつがしっかりできている。 ○和やかな雰囲気です授業が行われていて良い。また、男女分け隔てなく交流がなされている。 ○スマホ、ケータイ等の活用方法については、きちんと保護者、学校で指導してほしい。 ○下校途中の自転車による通行の仕方が一部気になる。事故に遭わないように十分気をつけてもらいたい。また、交通マナーを生徒に意識させたい。
3		楽しい学校生活	生徒は、学校生活が楽しい。	A	※自転車通学者の自転車の運転の仕方に多少、問題がある。通学路に坂が多い校区なので、怪我をしたり、事故に巻き込まれたりしないように、年度当初の交通安全教室を活用するとともに、随時、指導を心がけていきたい。また、交通ルールを守ること、歩行者に配慮して通行することなども併せて指導していきたい。	
4		共生・思いやり	生徒は、ルールを守り、仲間と協力している。	A		
5		規範意識のある学校生活	生徒は、規則正しい生活を送っている。	A		
6		こころざし	生徒は、将来への夢や希望、計画をもっている。	A	※個人差がある。仮に、現時点で夢や将来の希望をもっていないとしても、自身の将来について真剣に考える態度を養っていきたい。進路学習会や学級活動を活用し、生きることや働くことについて考える機会を増やしたい。	
7	確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ生徒の育成	学習内容の理解	生徒は、学習内容を理解している。	A	※教科研修や授業研修を行い、教員の授業力向上を今後も図っていきたい。 ※学府共通の課題として、物怖じせずに自らの考えや意見を相手に伝える態度の育成を意識した授業を行っている。さらに継続して行っていき、成果を見ていきたい。	○授業内容が難しくなっていく中、理解の不十分な生徒への配慮を忘れず、きめ細かく対応してほしい。 ○学府で作成した「家庭学習のガイドライン」を、学府全体で活用し、子どもへの啓発を行ってきたい。
8		表現力	生徒は、授業の中で積極的に考えを伝えている。	B	※本年度より、新聞コラムの視写を朝学習の時間に取り入れた。今後も継続して行い、言語能力の育成及び社会に対する意識向上を図ってきたい。	
9		主体的な学習	生徒は、進んで聞いたり調べたりして学習している。	B	※小中のつながりを意識した英語教育を今後も大切にし、英語への関心・意欲が高まるよう指導していきたい。	
10		英語に対する関心	生徒の英語への関心は高まっている。	B		

項目	重点	目標・取組		自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
11	自らの向上、集団の向上を目指す生徒の育成	体力の向上	生徒は、体力の向上に努めている。	A	○学校行事に対してほとんどの生徒がまじめに、意欲的に取り組む。	○コスモス体育大会、コスモス文化発表会等行事への取組が素晴らしい。学府内の小学生にも披露したらよい。
12		行事、課外活動への積極的な参加	生徒は、学校行事や課外活動に積極的に参加している。	A		
13	地域との関わりを大切にする生徒の育成	地域を知る	生徒は、地域の歴史・自然について知っている。	B	※地域の活動へ積極的に参加している。今後も、地区の体育祭、防災訓練、交流センター主催の行事には積極的に参加させ、地域との互惠関係、コミュニティづくりが深まるように促していきたい。	○来年度配置されるCSDにより、学府内の地域と学校の結びつきが深まることを期待する。
14		地域との交流	生徒は、地域の活動に積極的に参加している。	A		
15	教師への信頼感向上		生徒は、先生は気軽に相談に応じてくれると思っている。	A	○教育相談を実施したり、昼休み等の時間を利用して生徒とふれ合う時間を設定している。教育相談では、生徒の悩みや思いを受け止めて各教師が指導にあたっている。保護者からの信頼も比較的高い。	○子ども一人一人を丁寧に指導してもらいたい。 ○先生方には、時には、厳しく指導してほしい。ダメなことはダメであると毅然とした態度を取ってほしい。

学校関係者評価を受けてのまとめ

- ①生徒は、落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送ることができている。この状態を保ちつつ、生徒の学力向上を図っていききたい。そのため、教員の授業力向上、生徒の家庭学習の充実を中心に据えて、取り組んでいきたい。
- ②地域の方、保護者の学校に対する理解が進んでいることが確認できた。本年度同様、学校ホームページの充実や学校便り、学府だよりの発行を通して地域への情報公開を進めたい。
- ③来年度配置されるCSDを適切に活用し、地域との連携、各小学校との連携をより深めていき、地域を大切にし、地域で活躍する生徒を育てていきたい。
- ④生徒の登下校での事故やトラブルが心配される。年度当初に行われる交通安全教室を活用したり、学級活動等で交通安全を啓発したりして、自分の命は自分で守るということを常に意識させたい。